取扱説明書

AudioGate Ver. 1.5

KORG

Ⓙ ①

目次

■はじめに 3

■対応フォーマット 3

■各部の名称 4

■オーディオ・フォーマットの変換出力 4

●高度な設定 9

■ソングの再生 10

●ソングの再生方法 10

●インフォ・ビューワの表示内容 10

●使用可能なコントローラ 11

●連続再生（Continuous Playback）機能 12

●ダイレクト・ロケート機能 12

●オーディオ・デバイスの設定 12

■ソングの編集 13

●ソング・リストの基本操作 13

●ソング・リストの保存 13

●ソング・リストを開く 13

●ソング名の変更 14

●テキスト情報の変更 14

●ソング設定の変更 16

●ソングの分割 16

●ソングの結合 17

●チャンネル・リンク (Channel Link）機能 18

●マーク機能 18

●そのほかの便利な機能 19

■メッセージ一覧 20

■ショートカット一覧 22

■はじめに

AudioGateは1bitオーディオにも対応したオーディオ・フォーマット変換アプリケーションです。
KORG製オーディオ・レコーダー MR-2000S、MR-1000やMR-1で録音したオーディオ・ファイルを任意のフォーマットに変換して出力することができるほか、カットやフェードといった編集機能もサポートしています。

■対応フォーマット

AudioGateでは以下の形式のオーディオ・ファイルを入出力することができます。

ファイル・フォーマット		チャンネル数	サンプリング周波数	量子化ビット数
WAV	（拡張子：.wav）	1ch（mono） 2ch（stereo）	44.1 kHz　48 kHz 88.2 kHz　96 kHz 176.4 kHz　192 kHz	16bit 24bit 32bit（float）*1
BWF	（拡張子：.wav）			
AIFF	（拡張子：.aif/.aiff）			
DSDIFF	（拡張子：.dff）		2.8224 MHz 5.6448 MHz	1bit
DSF	（拡張子：.dsf）			
WSD	（拡張子：.wsd）			

*1：WAV/BWFのみ

MR-2000S、MR-1000、MR-1やAudioGate以外で作成したファイルは、正常に読み込めない場合があります。

以下の形式のオーディオ・ファイルは入力のみの対応になります。

ファイル・フォーマット		チャンネル数	サンプリング周波数	ビットレート	備考
MP3	（拡張子：.mp3）	1ch（mono） 2ch（stereo）	44.1 kHz 48 kHz	80～320 kbps、VBR	
AAC	（拡張子：.m4a）			96～320 kbps、VBR	QuickTime7がインストールされている場合に対応
Apple ロスレス（ALAC）				VBR	
WMA	（拡張子：.wma）			32～192 kbps、VBR	Windowsのみ対応

DRM（デジタル著作権管理）で保護されたオーディオ・ファイルは入力できません。

■各部の名称

■オーディオ・フォーマットの変換出力

AudioGate では、コンピュータ内のオーディオ・ファイルを任意のフォーマットに変換して出力することができます。また、MR-2000S、MR-1000やMR-1で録音した際に作成されるMRプロジェクトを直接インポートして、任意のフォーマットに変換することもできます。
なお、AudioGateでは、ソング・リスト上のオーディオ・データを「ソング」と呼びます。

note MR プロジェクトをインポートすることで、マークを読み込んだり、分割されていているオーディオ・ファイルでも自動的に結合して、1つのソングとして扱うことができます。

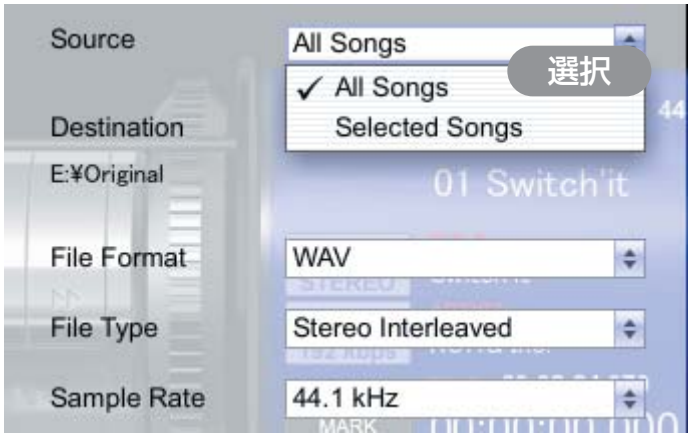
MR-2000S、MR-1000 やMR-1 で録音したMR プロジェクト・フォルダは、あらかじめコンピュータのハードディスクにコピーしておきます。

1. **変換したいMR プロジェクト・フォルダ（またはオーディオ・ファイル）を、ソング・リストにドラッグ&ドロップします。**
   [ADD]ボタンをクリックして、MR プロジェクト・フォルダに含まれる.prj ファイル（またはオーディオ・ファイル）を選択することもできます。

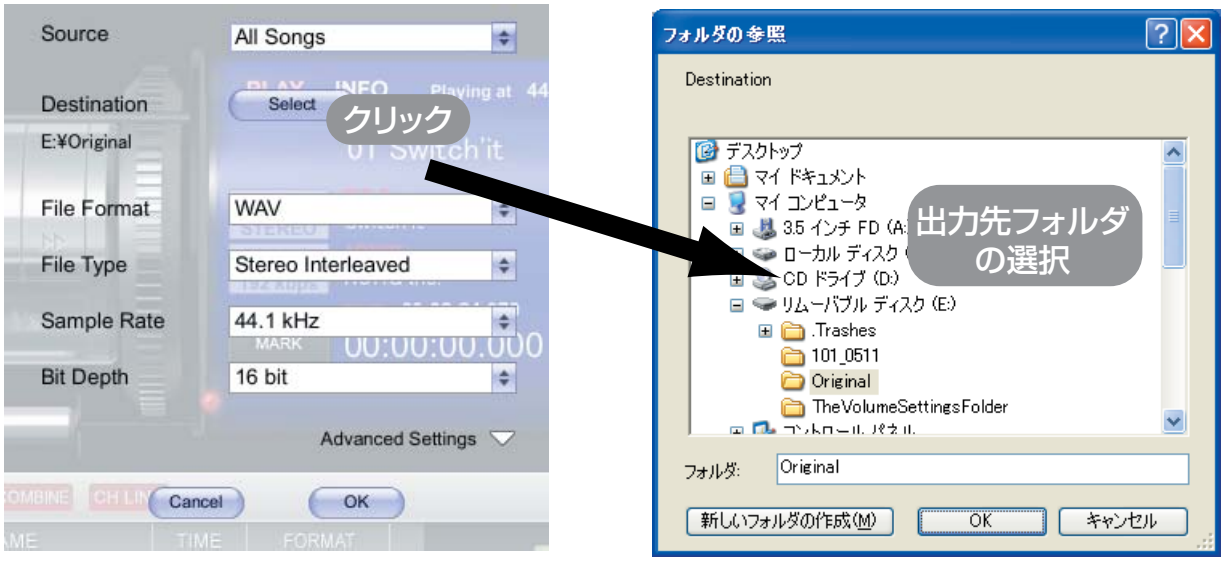
ソング・リストにファイルがインポートされ、再生時間、フォーマットなどの情報が表示されます。

2. **[EXPORT]ボタンをクリックします。**
出力ファイルの設定画面が表示されます。

3. 変換ソースを設定します。ソング・リスト上の全てのソングを出力する場合は「All Songs」を、選択されているソングのみを出力する場合は「Selected Songs」を選択します。



4. 「Destination」の[Select]ボタンをクリックして、出力先フォルダを選択します。



5. 出力ファイルのフォーマット（File Format）を設定します。

✍ フォーマットに「AIFF」を選択した場合は、MR-1000やMR-1 での再生ができません。

6. **出力ファイルのタイプを設定します。**

Mono / Dual Mono；

モノラル・ソングはモノラル・ファイルとして、ステレオ・ソングはデュアル・モノ・ファイルとして出力されます。出力されたファイルをDAW等にインポートする際に便利です。

この形式のファイルをMR-2000S、MR-1000やMR-1で再生することはできません。

Stereo Interleaved：

チャンネル・インターリーブされたステレオ・ファイルが出力されます。モノラル・ソングの場合は、LchとRchに同じデータを埋めて、ステレオ化されます。MR-2000S、MR-1000やMR-1で再生する際は、AUDIOフォルダ内にコピーしてください。

MR Project：

.prjファイルとオーディオ・ファイルを含むMRプロジェクト・フォルダが出力されます。巨大なオーディオ・データ（FAT32の限界である4GBを超える）を出力する場合に便利です。
AudioGateで編集したマークもMRプロジェクトに埋め込むことができます。MR-2000S、MR-1000やMR-1で再生する際は、MR_PROJフォルダ内の適切な位置にコピーすることで、ギャップレス再生することができます。

7. **出力ファイルのサンプリング周波数（Sample Rate）と量子化ビット数（Bit Depth）を設定します。**

サンプリング周波数を「5.6MHz」に設定するとMR-1での再生が不可能となります。

量子化ビット数を「32bit (float)」に設定すると、 MR-2000S、MR-1000やMR-1での再生が不可能となります。また、サンプリング周波数が「88.2kHz」以上の「16bit」ファイルを出力した場合も、MR-2000S、MR-1000やMR-1での再生が不可能となります。

note 「Advanced Settings」を選択して、変換アルゴリズムの細かい設定を行うこともできます。詳細は9ページの「●高度な設定」をご覧ください。

8. [OK] ボタンをクリックします。
インフォ・ビューワ右上に”Converting to…”と表示され、ファイルの変換出力が開始されます。

note [OK] ボタンを押した直後に警告メッセージが表示される場合があります。メッセージの内容や対処方法については、20ページの「■メッセージ一覧」をご覧ください。

note エクスポート実行中に再度[EXPORT]ボタンをクリックすると、エクスポート処理を中止することができます。

1bitオーディオ・ファイルには、PCMの上限を超える大きな音が含まれている場合があります。1bitオーディオをPCMに変換する際は、クリップを防止するために、GAINの設定（→p.16参照）を－3.0dB程度下げる必要がある場合があります。

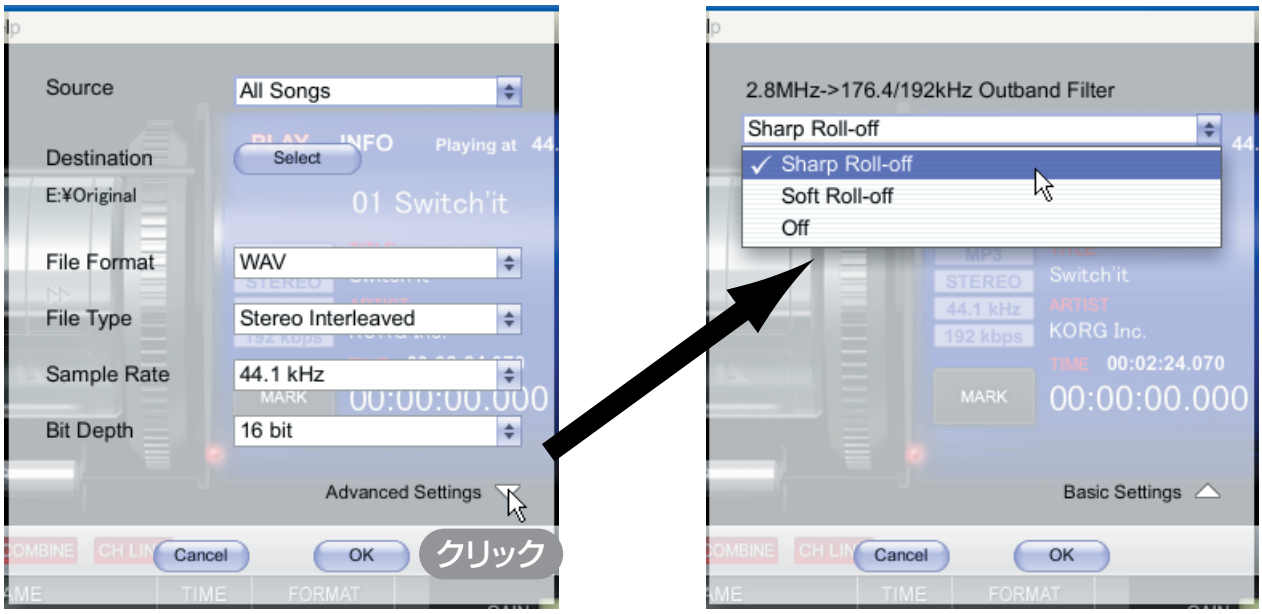
ソングを1bitオーディオ・ファイルに変換出力すると、出力ファイルの末尾に数十ミリ秒の無音信号が付加される場合があります。

note 入力ファイルと出力ファイルのサンプリング周波数が同じで、GAINとDC CUTの設定（→p.16参照）がデフォルトの場合、AudioGateは不要な再計算を省いた“ダイレクト出力モード”に切り替わることがあります。“ダイレクト出力モード”動作時は、レベル・メーターが0dBの位置に固定されます。

9. エクスポートが終了すると「Export completed.」というダイアログが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。

●高度な設定

エクスポート時に「Advanced Settings」を選択すると、変換アルゴリズムに関する細かい設定を行うことができます。



2.8MHz->176.4/192kHz Outband Filter

1bit/2.8MHzのソングを176.4kHz、または192kHzのPCMファイルに変換出力する際の、追加フィルタを設定します。

Sharp Roll-off	急峻な減衰特性を持つ低域通過フィルタを適用します。(－3dB@42kHz)
Soft Roll-off	なだらかな減衰特性を持つ低域通過フィルタを適用します。(－3dB@50kHz)
Off	追加フィルタを使用しません。

■ソングの再生

AudioGateでは、ソング・リストにインポートされているソングを再生することができます。この機能は1bitオーディオ・ファイルの内容確認や編集ポイントの設定に便利です。

AudioGateでサポートされているソング再生機能は、高速フィルタによる簡易再生です。1bitオーディオ本来の音質は、MR-2000S、MR-1000やMR-1など1bitオーディオ対応機器でお楽しみください。

note AudioGate では、再生中（または再生待機中）のソングを「カレント・ソング」と呼んでいます。カレント・ソングは、ソング・リスト上にスピーカー・アイコンが表示され、インフォ・ビューワにソング情報が表示されます。またカレント・ソング内の現在位置を「カレント・ポジション」と呼び、時間情報に表示されます。

●ソングの再生方法

ソング・リスト上のソングをダブルクリックしてカレント・ソングを変更します。自動的に再生が開始されます。

note 音が出ない、音飛びが頻発するなど、ソングの再生がうまくいかない場合は、12ページの「●オーディオ・デバイスの設定」を確認してください。

●インフォ・ビューワの表示内容

インフォ・ビューワにはカレント・ソングの情報が表示されます。

項目	内容
オーディオ・デバイスのサンプリング周波数	オーディオ・デバイスのサンプリング周波数が表示されます。カレント・ソングはこの周波数にリアルタイム変換されて再生されます。
ソング名	カレント・ソングの名前が表示されます。
テキスト情報	カレント・ソングのタイトルとアーティスト名が表示されます。
フォーマット	カレント・ソングのファイル・フォーマット、チャンネル数、サンプリング周波数、量子化ビット数が表示されます。「量子化ビット数」のアイコンは、MP3/AAC/Apple ロスレス（ALAC)/WMA 再生時には、「ビットレート」（128kbpsなど）の表示になります。
マーク・ボタン	マーク・ボタンをクリックすると、マーク編集ウィンドウが表示されます。
時間情報	カレント・ソングの再生時間と現在の再生位置が表示されます。

●使用可能なコントローラ

ソングの再生には以下のコントローラを使用することもできます。

コントローラ名	動作
[Play/Pause]ボタン	カレント・ソングの再生/一時停止を切り替えます。
[Stop]ボタン	カレント・ソングの再生を停止します。
[FF]ボタン	カレント・ポジションを次のマーク位置に変更します。次のマークがない場合は、カレント・ソングをソング・リスト上の次のソングに変更します。長押しすると再生ポイントを先に進めることができます。
[REW]ボタン	カレント・ポジションを前のマーク位置に変更します。前のマークがない場合は、ソングの先頭に移動します。長押しすると再生ポイントを前に戻すことができます。
[To]ボタン	一時停止中にクリックすると、カレント・ポジションまでの2秒間を再生します。
[From]ボタン	一時停止中にクリックすると、カレント・ポジションからの2秒間を再生します。
タイム・ホイール	上下にドラッグして、カレント・ポジションを微調整します。
タイム・スライダー	カレント・ポジションがグラフ表示されます。左右にドラッグして、再生ポイントを変更することもできます。

●連続再生（Continuous Playback）機能

[Controls]→[Continuous Playback]メニューにチェックをつけてオンにすると、ソング･リストの連続再生機能が有効となります。

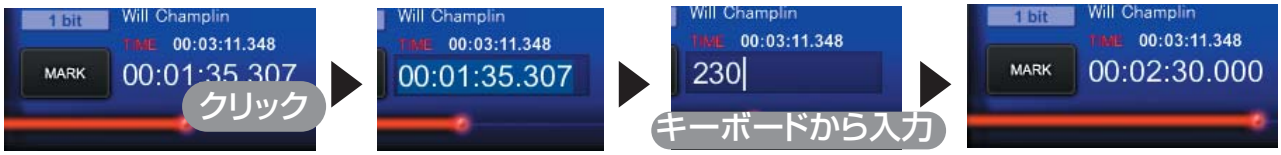
Continuous Playback	ソング再生中にソング終端に達したときの動き
オフ	カレント・ソングの先頭に戻って停止します。
オン（チェック）	ソング・リスト上の次のソングに移動して、再生を続けます。次のソングがない場合は、先頭のソングに戻って停止します。

●ダイレクト・ロケート機能

カレント・ポジションをキーボードから直接指定することができます。

1. **ソングの再生中、または停止中に、インフォ・ビューワのカウンタをクリックします。**

2. **カウンタが編集可能状態となるので、キーボードから「2:30」など新たなカレント・ポジションを指定します。**
   「230」→「2:30」、「1204」→「12:04」のようにコロン（ : ）を省略して入力することもできます。

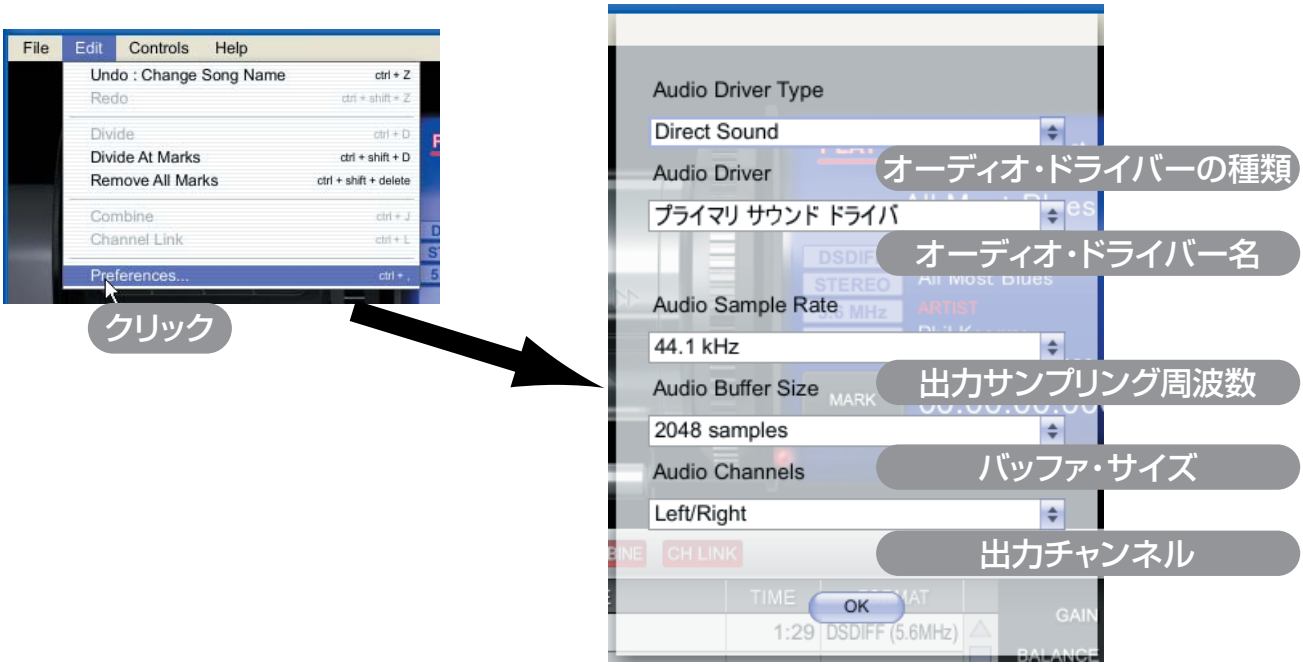


カレント・ポジションが移動したことが確認できます。

●オーディオ・デバイスの設定

メニューから [Edit]-[Preferences...]（Mac の場合は [AudioGate]-[Preferences...]）を選択すると、オーディオ・デバイスの設定を変更することができます。ソングの再生が正常に行われない場合は、各項目が適切に設定されているか再度確認してください。

note 1bit オーディオ・ファイルを安定して再生するには、高速なCPU が必要です。再生時に音飛びや雑音が頻発に発生する場合は、出力サンプリング周波数を小さくしたり、バッファ・サイズを大きくすることで、パフォーマンスを改善できる場合があります。



■ソングの編集

AudioGateではソング・リスト上でソングの分割や結合を行うことができます。これにより、1つのオーディオ・ファイルから必要な部分のみをエクスポートしたり、連続録音された複数のファイルを1つにまとめてエクスポートしたりすることができます。また各ソングのゲイン、バランス、フェード、DCカットの設定や、タイトル・アーティスト名などのテキスト情報を変更することもできます。

●ソング・リストの基本操作

操作	方法
ソングの追加	[ADD] ボタンをクリックしてファイルを選択するか、コンピュータ上のオーディオ・ファイルをソング・リストへドラッグ＆ドロップします。
ソングの選択	ソングをクリックします。Ctrl キー（Mac の場合はCommand キー）を押しながらクリックすることで、複数のソングを選択することもできます。 選択中のソングはフォーカス表示されます。
ソングの削除	ソングを選択し、[REMOVE] ボタンをクリックします。
ソングの並び替え	選択ソングを上下方向にドラッグして移動します。

●ソング・リストの保存

メニューから[File]-[Save Songlist As...] を選択し、ファイル名と保存先を指定します。ソング・リスト・ファイルの拡張子は「.agsl」となります。

●ソング・リストを開く

メニューから[File]-[Open Songlist] を選択し、保存してあるソング・リスト・ファイルを指定します。

note 現在のソング・リストが未保存の場合は、「Save the current songlist before opening?」（新しいソング・リストを開く前に現在のリストを保存しますか？）というメッセージが表示されます。現在のソング・リストを保存する場合は[Save]を、保存しない場合は[Don't Save] を選択します。

note オーディオ・ファイルが移動または削除されていて見つからない場合は、ソング名が赤く表示されます。赤く表示されているソングを再生/エクスポートすることはできません。

note AudioGateが起動していない状態でも、ソング・リスト・ファイル（.agsl）をAudioGateアイコンにドラッグ＆ドロップすることで、AudioGateを自動的に起動し、ソング・リストを読み込むことができます。

●ソング名の変更

ソング・リスト上でソング名をクリック（またはインフォ・ビューワでソング名をダブルクリック）すると、テキストが編集可能の状態になります。編集後は、Enterキーで確定します。

note ソング名はエクスポート時の出力ファイル名として使用されます。

リスト上の他のソングと同一のソング名に変更することはできません。

ソング名として使用できるテキストに日本語（マルチバイト文字）を入力することができますが、MR プロジェクト形式で出力する場合は、英数字を使用してください。

●テキスト情報の変更

カレント・ソングのテキスト情報（楽曲のタイトルとアーティスト名）を編集することができます。この情報はエクスポート時に出力ファイルのヘッダに埋め込まれます。

テキスト情報として使用できるテキストに日本語（マルチバイト文字）を入力することができますが、AIFF、DSF以外のフォーマットで出力する場合は、英数字を使用してください。ファイル・フォーマットの制限により、出力時に英数字以外が無視されます

1. **ソング・リスト上のソングをダブルクリックします。**
   対応するソングがカレント・ソングとなり、インフォ・ビューワにソング情報が表示されます。

2. インフォ・ビューワのTitle欄をクリックすると、ソングのタイトルが編集可能状態になります。編集後は、Enterキーで確定します。

3. 同様にArtist欄をクリックし、アーティスト名を編集します。

note インフォ・ビューワの[INFO]タブをクリックすると、更に「Genre」（ジャンル）、「Location」（録音場所）、「RecDate」（録音日）、「RecTime」（録音時刻）の情報を編集することもできますが、出力ファイルのフォーマットによっては、ヘッダに埋め込まれない場合があります。

●ソング設定の変更

ソング・リスト右側には選択中のソングの各種設定が表示されています。ボタンはクリックして、数値はダブルクリックして入力（またはクリックしたままカーソルを上下に移動：ドラッグ）することによって、設定値を変更することができます。この設定は再生時およびエクスポート時に反映されます。

項目	方法
GAIN	− 24.0dB ～+ 24.0dB の範囲で、ソングの音量レベルを設定します。再生時およびエクスポート時にクリップ・インジケータが点灯しないように調整します。
BALANCE	L100...C...R100 の範囲内で、ソングの左右の音量バランスを調整します。ただし、モノラル・ソングのBALANCEはC（中央）に固定され、変更することはできません。
FADE IN	フェード・インに使用するエンベロープの形状と、フェード・イン終了までの時間（0.0秒～10.0秒）を設定します。
FADE OUT	フェード・アウトに使用するエンベロープの形状と、フェード・アウト終了までの時間（0.0秒～10.0秒）を設定します。
DC CUT	通常は“OFF”(無効)に設定します。ソングにDC成分が乗っている場合は“ON”にして、これを除去することができます。

●ソングの分割

カレント・ソングをカレント・ポジションで2つに分割することができます。

1. **ソング再生機能を利用し、分割ポイントまで移動します。**

2. **一時停止状態であることを確認し、[DIVIDE] ボタンをクリックします。**
   ソング・リスト上でソングが分割されたことが確認できます。

note テキスト情報とソング設定は、原則として分割後の両ソングに引き継がれます。

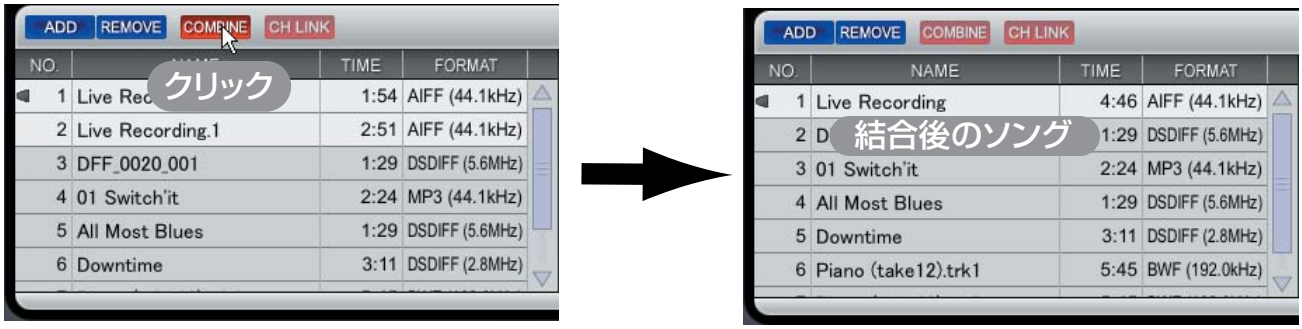
●ソングの結合

複数のソングを1つのソングにまとめることができます。

1. **ソング・リスト上のソングをクリックし、選択状態にします。**

2. **Ctrlキー（Macの場合はCommandキー）を押しながら別のソングをクリックし、複数選択状態にします。**

3. **[COMBINE] ボタンをクリックします。**
   ソング・リスト上でソングが結合したことが確認できます。



- MR-2000S、MR-1000やMR-1で自動分割された連続ファイル以外を結合すると、結合部分にノイズが発生する場合があります。
- フォーマットの異なるソングを結合することはできません。
- MP3、AAC、Appleロスレス（ALAC)、WMA形式のソング同士を結合することはできません。
- note テキスト情報とソング設定は、原則としてソング・リスト上位のものが優先されます。

●チャンネル・リンク（Channel Link）機能

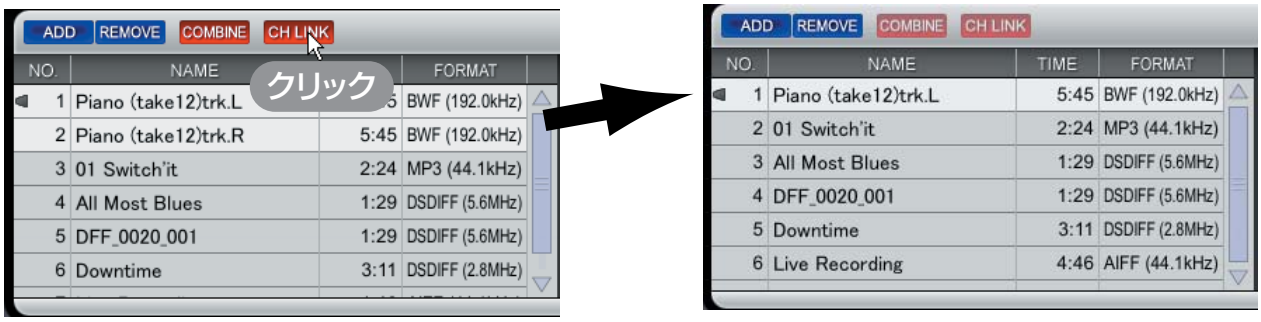
2つのモノラル・ソングを1つのステレオ・ソングとして扱うことができます。通常は、同じ長さのソング同士をリンクするのに使用します。

1. **ソング・リスト上のソングをクリックし、選択状態にします。**
2. **[Ctrl] キー（Macの場合は [Command] キー）を押しながら別のソングをクリックし、複数選択状態にします。**
3. **[CH LINK] ボタンをクリックします。ソング・リスト上でソングがリンクされたことが確認できます。**

フォーマットの異なるソングやMP3、AAC、Appleロスレス（ALAC)、WMA形式のソング同士をリンクすることはできません。

長さの異なるソング同士をリンクした場合、全体の長さは長い方のソングに合わされます。

note テキスト情報とソング設定は、原則としてソング・リスト上位のものが優先されます。



●マーク機能

マークの読み込み

AudioGateは、以下のマークを読み込むことができます。

- **MRプロジェクトに含まれるマーク**
- **WAV/BWFファイルのCue-points Chunkに含まれるマーク**
- **DSDIFFファイルのMarker Chunkに含まれるマーク（track start及びindex）**

マークの書き出し

AudioGateは、以下のファイル形式で出力する際にマークを埋め込みます。

- **MRプロジェクト形式**
- **WAV及びBWFファイル**
- **DSDIFFファイル**

マークの編集

インフォ・ビューワ内のマーク・ボタンをクリックすると、マーク編集ウィンドウが開きます。
マーク編集ウィンドウのタイム・スライダー上のマーク位置にマーク・アイコンが表示されているのが確認できます。

操作	方法
マークの選択	マーク・アイコンをクリックします。マーク・アイコンが選択状態となり、マーク・ボックスにマーク番号とマーク位置が表示されます。
マークの追加	[ADD]ボタンをクリックすると、カレント・ポジションにマークが追加されます。 同じ位置にマークを2つ追加することはできません。
マークの削除	削除したいマークを選択して、[REMOVE]ボタンをクリックします。
マーク位置の修正	位置を修正したいマークを選択して、表示されるマーク時刻をクリックします。時刻が編集可能状態になるので、キーボードから新たな時刻を入力して、enterキーで確定します。
カレント・ソング内の全てのマークを削除	メニューから[Edit]->[Remove All Marks]を選択します。
マーク位置でソングを分割	メニューから[Edit]->[Divide At Marks]を選択します。

マーク位置への移動

操作	方法
次のマークへ移動	「FF」ボタンをクリックします。カレント・ポジションを基準に「次のマーク」へ移動します。
前のマークへ移動	「REW」ボタンをクリックします。カレント・ポジションを基準に「前のマーク」へ移動します。
指定マークへ移動	マーク・アイコンをダブル・クリックします。
	マーク・ボックスの右端の「▼」をクリックして、マーク・リストの中から選択します。

●そのほかの便利な機能

編集の取り消し（アンドゥ）

メニューから[Edit]-[Undo]を選択して、最後の編集操作を取り消すことができます。

編集の再実行（リドゥ）

メニューから[Edit]-[Redo]を選択して、アンドゥによって取り消された編集操作を再実行することができます。

■メッセージ一覧

英文メッセージ	内容と対処方法
コピー・プロテクションに関するメッセージ	
AUTHORIZATION REQUIRED. Connect your MR recorder to your computer, set it to [USB MODE], and relaunch AudioGate.	ライセンス認証が済んでいません。お手持ちのMR-2000S、MR-1000やMR-1をコンピュータに接続し、[USB MODE]にセットし、AudioGateを再起動してください。
AUDIOGATE ACTIVATED. Thank you for using KORG 1-bit audio products.	ライセンス認証が完了し、AudioGateが有効となりました。KORGの1bitオーディオ製品をお使い頂き、誠にありがとうございます。
エクスポートに関するメッセージ	
Some output files will exceed 4GB in size. Make sure your file system supports 4GB+ files. Continue to export?	出力ファイルが4GBを超えるソングが存在します。お使いのコンピュータのハードディスクが対応形式（NTFS/HFS+など）でフォーマットされていることを確認してください。 続けますか？ 処理を中止する場合は[Cancel]を、続行する場合は[Continue]を選択します。 4GBを超えるファイルをMR-1000やMR-1にコピーすることはできません。
The following songs are too long for WAV/BWF/AIFF formats. Divide the songs in the songlist.	出力ファイルがWAV/BWF/AIFFフォーマットの上限（4GB）を超える可能性があります。ソング・リストに戻り、ソングの分割（→p.16参照）を行ってください。
The following songs contain multibyte characters in their song names which cannot be used in MR projects. Rename the songs in the songlist.	ソング名にMRプロジェクトで使用できないマルチバイト文字が使用されています。ソング·リストに戻り、ソング名を変更（→p.14参照）してください。
The following files already exist in (フォルダ名). Do you want to replace them?	出力先フォルダに出力ソング名と同じファイルが存在しています。既存のファイルを置き換える場合は[Replace]を、置き換えない場合は[Cancel]を選択します。
The following files are referred to in the songlist. Rename the songs or change the destination folder.	出力先フォルダにソング・リストから参照されているファイルが存在しています。ソング名を変更（→p.14参照）するか、出力先を変更（→p.6参照）してください。
The following folders already exist in (フォルダ名). Rename the songs or change the destination folder.	出力先フォルダに出力ソング名と同じフォルダが存在しています。ソング名を変更（→p.14参照）するか、出力先を変更（→p.6参照）してください。
The selected destination does not exist. Change the destination folder.	選択されている出力先が存在しません。出力先を変更（→p.6参照）してください。
There is not enough free space on the target drive.	出力先ドライブの空き容量が足りません。
Do you really want to stop exporting?	エクスポート処理を中止しますか？ 処理を中止する場合は[Stop]を、続行する場合は[Continue]を選択します。
Export completed.	エクスポート処理が完了しました。

英文メッセージ	内容と対処方法
ソング・リストに関するメッセージ	
Save the current songlist before opening?	新しいソング・リストを開く前に現在のリストを保存しますか？ 現在のソング・リストを保存する場合は [Save] を、保存しない場合は [Don' t Save] を選択します。
(ファイル名) already exists in (フォルダ名). Do you want to replace it?	同名のソング・リストが既に存在しています。置き換えますか？ 既存のファイルを置き換える場合は [Replace] を、置き換えない場合は [Cancel] を選択します。
Cannot change the song name. A song with the same name already exists in the songlist.	ソング名を変更できません。同名のソングがソング・リスト内に既に存在しています。
The songlist file was created by the newer version of AudioGate. Please update your software.	新しいバージョンの AudioGate で作られたソング・リスト・ファイルです。AudioGateをアップデートしてください。
The songlist file is invalid or broken.	ソング・リスト・ファイルが不正、または壊れている可能性があります。
その他	
The User's Guide file cannot be found.	取扱説明書ファイルが見つかりませんでした。
Cannot open the User' s Guide file. There is no application associated with PDF files.	取扱説明書ファイルを開けませんでした。PDF ファイルに関連付けされたアプリケーションがありません。

■ショートカット一覧

機能	Windows	Mac
ソング・リストを開く	Ctrl ＋ Shift ＋ O	Command ＋ Shift ＋ O
ソング・リストの保存	Ctrl ＋ S	Command ＋ S
ソング・リストに名前を付けて保存	Ctrl ＋ Shift ＋ S	Command ＋ Shift ＋ S
オーディオ・ファイルの追加	Ctrl ＋ O	Command ＋ O
ソングの削除	Delete	Delete
インフォ・ビューワの表示切替	Ctrl ＋ I	Command ＋ I
エクスポート	Ctrl ＋ Shift ＋ E	Command ＋ Shift ＋ E
AudioGateの終了	Ctrl ＋ Q	Command ＋ Q
編集の取り消し	Ctrl ＋ Z	Command ＋ Z
編集の再実行	Ctrl ＋ Shift ＋ Z	Command ＋ Shift ＋ Z
テキストの切り取り	Ctrl ＋ X	Command ＋ X
テキストのコピー	Ctrl ＋ C	Command ＋ C
テキスト貼り付け	Ctrl ＋ V	Command ＋ V
ソングの分割	Ctrl ＋ D	Command ＋ D
マーク位置でソングを分割	Ctrl ＋ Shift ＋ D	Command ＋ Shift ＋ D
全てのマークを削除	Ctrl ＋ Shift ＋ Delete	Command ＋ Shift ＋ Delete
全てのマークを選択	Ctrl ＋ Shift ＋ A	Command ＋ Shift ＋ A
ソングの結合	Ctrl ＋ J	Command ＋ J
チャンネル・リンク	Ctrl ＋ L	Command ＋ L
上のソングを選択	↑	↑
下のソングを選択	↓	↓
全てのソングを選択	Ctrl ＋ A	Command ＋ A
オーディオ出力の設定	Ctrl ＋ ,	Command ＋ ,
選択ソングを再生	Enter	Enter
ソングの再生/一時停止	Space	Space
一時停止中にカレント・ポジションから再生（From再生）	F	F
一時停止中にカレント・ポジションまで再生（To再生）	T	T
一時停止中にカレント・ポジションを0.001秒先に進める	Shift ＋ →	Shift ＋ →
一時停止中にカレント・ポジションを0.001秒前に戻す	Shift ＋ ←	Shift ＋ ←
一時停止中にカレント・ポジションを0.05秒先に進める	→	→
一時停止中にカレント・ポジションを0.05秒前に戻す	←	←

機能	Windows	Mac
一時停止中にカレント・ポジションを1秒先に進める	Alt ＋ →	Option ＋ →
一時停止中にカレント・ポジションを1秒前に戻す	Alt ＋ ←	Option ＋ ←
再生中にカレント・ポジションを先に進める（FF再生）	→（長押し）	→（長押し）
再生中にカレント・ポジションを前に戻す（REW再生）	←（長押し）	←（長押し）
次のマークへ移動	Ctrl ＋ Shift ＋ →	Command ＋ Shift ＋ →
前のマークへ移動	Ctrl ＋ Shift ＋ ←	Command ＋ Shift ＋ ←
カレント・ポジションの編集（ダイレクト・ロケート）	G	G
次のソングへ移動	Ctrl ＋ →	Command ＋ →
前のソングへ移動	Ctrl ＋ ←	Command ＋ ←